

和水町の障がい者 施設・事業所を紹介します

町内にある、障がい者施設・事業所を知っていただくことを目的に、施設・事業所などの紹介を行います。

第1弾

なごみサポート株式会社

なごみサポート株式会社とは…

なごみサポートは、平成25年12月24日より熊本県の認可を受けた和水町唯一の就労継続支援A型施設*です。

障がいや病気をお持ちの人の「はたらきたい気持ち」をサポートする施設として、地域に根ざした事業展開を行っています。

現在、社会に出て仕事をしたいとお考えで自信が持てない人、身体のリズムを整えていきたい人などが、作業を通して必要な支援を受け、お仕事をされています。



- 所在地** 和水町板楠2860-6
- 電話番号** 0968-34-3566
- 提供サービス** 就労継続支援A型施設
(送迎サービス・食事サービス有)
- 対象者** 知的障がい・精神障がい・身体障がいおよび難病の人
- 仕事内容** 発電機SW部品組立生産
農作業出荷請負
農業(野菜・タケノコ・米など)

※就労継続支援A型って?

一般への企業の就職が、困難な障がいをお持ちの人に就労の機会を提供し、将来一般企業で就労するために知識および能力の向上に必要な訓練などを提供する施設です。



事業所内での作業風景



仕事の受け入れ先農家でのみかんの収穫

地域における医療と 保健・介護・福祉の連携をめざして

国民健康保険関係者や国民健康保険診療施設の医療従事者、保健・介護・福祉事業関係者等が一堂に介し、医学的調査研究等を発表する熊本県国保地域医療学会が毎年開催されています。今年は、10月25日(土)、熊本テルサで第19回目の学会が開催されました。

このように現在では、毎年、学会が開催され研究発表が行われていますが、日本で第1回の看護研究発表会が開催されたのは、今から約60年前の西暦1952年という報告があっており、臨床看護の実践の研究がなされるようになったのは、ごく最近のことになります。

今回の学会では、当院から3題の発表を行いました。

まず、看護師の浦田春美が、「清拭に対する患者・看護師の意識調査」について発表しました。患者様の満足度の高い清拭に繋げるために、現在、病棟で行っている清拭の時間、温度、満足度について、患者様と看護師の双方の立場から認識の違いを調査研究したものです。

次に、介護士の渡邊晋一郎が、「廃用性障害のある患者の身だしなみへの介入効果」について発表しました。療養病棟の廃用性障害のある患者様に衣服の着替えと整髪の援助を積極的に行い、患者様の会話や表情といった行動の変容を調査研究したものです。

最後に、看護部長の松川美鶴が、「訪問看護師の人材不足の要因調査」について発表しました。他の訪問看護ステーションの訪問看護管理者8名に「人材不足の状況にあるか」「どのような人材を求めるか」「求めるスキル」「新規採用者を教育した経験から訪問看護師の能力」等、現状を聞き取り、これから訪問看護師の定着を図るための術を調査研究したものです。

また、昨年開催された本学会では、居宅介護支援

事業所介護支援専門員の坂梨佳江、松浦洋子、上川視紀子、坂本律子が「ニーズに沿ったケアマネジメントをめざして ～満足感調査からの検討～」について発表し、最優秀賞を受賞しました。そして、今年10月10日(金)、11日(土)に岐阜県で開催された第54回国保地域医療学会に熊本県代表として参加し、調査研究内容を発表しました。

調査研究の内容は、利用者及びその家族が感じるケアマネジメントの満足感を調査し、現状と課題を明らかにして居宅介護支援事業所の利用者ニーズに沿ったケアマネジメントの検討を調査研究したものです。

このように当院では、それぞれの職種の職員が質の高い医療を提供するために様々な調査研究を行い、学会で発表を行っています。

また、当院では、医療行為又は医学的調査研究に倫理的配慮を図り、医療を受ける患者様の人格を尊重し人権を擁護するために、今年7月、倫理委員会を設置しました。この倫理委員会には、院外から医学以外の有識者2名に委員として参加していただいています。

これからも調査研究を行い、患者様にとってよりよい医療を提供するために努力してまいります。



左から浦田、坂梨、松川、渡邊